

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

576

16日早朝、白馬村み
そら野地区の一部に山
の沢からの土砂流失で
被害が発生。行政屋外
無線で避難指示の知ら
せに驚く。災害前日の

豪雨は12月では稀だと
家族で話したばかり
だった。大勢の方から
被災心配の連絡があっ
たが、長野冬季オリン
ピック等で大会運営の
協賛金でお世話になっ
た方から25年ぶりの連
絡に当時を思い出す。
改めて白馬会場の支援
に協力いただいた皆さ
んとの間関係の深さを
実感する。多くの皆
さんの地域支援が、月
日が経つことに記憶が
緩慢になる事は仕方が
ないだろうが、支援の
内容を語り継ぐ大切さ
は忘れてはいけないと
考えさせられた。

白馬村12月議会の一
般質問で丸山勇太郎議
員が「少子高齢化社会
でボランティア活動を
継続させていくため
に、多くのボランティア
活動を、有償化する
ためにポイント制度
を導入しては」との提
言があった。質疑時間
に限りがあり有意義な

ボランティア活動への 考え方を改めるべきだ

考えるべきなのだろ
う。だが逆にボラン
ティア活動を求める事
例は多くなるはずだ。
定年後の人材の高齢化
が顕著になり、専業主
婦にも職場勤務が求め
られてボランティアに
時間を提供できる人は
激減するのだろう。少
子高齢化社会では、全
世代の役割の在り方の
固定観念を変えなくて
はならない。ボラン
ティア活動を無償か低
コストで賄う発想は困
難になる事は必定だ。
11月に大阪市と神戸

市で行われたプロ野球
の優勝パレードで大阪
市職員のボランティア
動員への批判を受け、
横山大阪市長は記者団



薄暗い早朝、耕起されないソバ栽培農地に落下したソバの実に群がるカラスの群れ。景観地にそぐわない風景だ

に関西経済にもたらした波及効果を無視して「同様なイベントは今後開催しないこともあり得る」と考えを述べた。

た。特定球団のイベン
トへの公費負担を判断
せず、業務として位置
づけ、代休取得の措置
が取れない社会が本当
に良いのだろうか。
これからのボラン
ティア活動を全世代で
行う社会では、フルタ
イム勤務職場の職員も
ボランティア活動に対
応できる社会構造にし
ていかなければいけな
い。ボランティアは無
償ではなく、有償活動
との認識が大切だ。そ
れを可能とする地域が
少子高齢化社会では求
められているのだろ
う。
(信州地域社会フォー
ラム会員・白馬村森上)